

＜昭和58年度支部研究活動報告＞

(近畿支部)

○定例研究会（3月10日・大阪体育大学）

・卒業論文発表

1. 「組織キャンプにおける自己機会の変容について」	田中 里美（大阪体育大学）	指導教授：福田 芳則
2. 「衛星都市における野外活動について」	松原 俊三（　　〃　　）	指導教授：福田 芳則
3. 「家庭内における野外活動の現状と役割について」	桑田 勇人（　　〃　　）	指導教授：福田 芳則
4. 「大学生のスキー指向についての調査研究」	内田麻起子（　　〃　　）	指導教授：福田 芳則
5. 「高校における野外活動のあり方」	位上 貴紀（　　〃　　）	指導教授：福田 芳則
6. 「レクリエーションとしてアーチェリーを行なう場合の問題点と方法についての一考察」	糸川 裕美（　　〃　　）	指導教授：福田 芳則

(九州支部)

○第11回九州レクリエーション学会大会（11月12日・都久志会館）

・研究発表

1. 「機能概念としての「体育」と「レクリエーション」に関する一考察」	山下 和彦（福岡大学）
2. 「レクリエーション指導者の活用と登録制度」	

佐藤 靖典（福岡市レクリエーション協会）